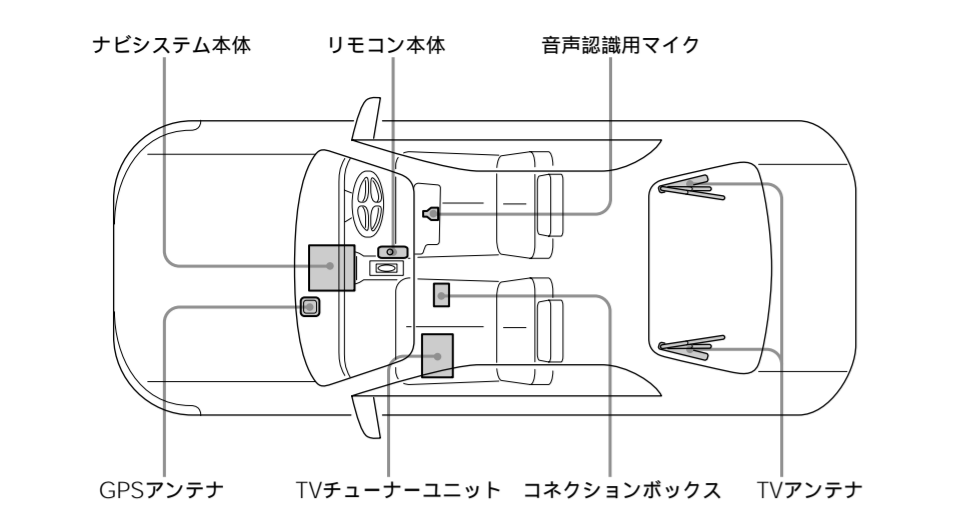




## 取り付ける前に

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



### ご注意

次のような場所への取り付けは避けてください。

- ・高温になるところ。
- ・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

## 2 ナビシステム本体を取り付ける

### 本機を取り付ける前に

本機は安全性を重視して設計されていますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。

取り付ける前に、必ず以下の事項を確認してください。

- ・モニターをセットしたときに、エアコンの吹き出し口の近くのときは吹き出し口を閉じてください。
- ・本機はイグニッションキースイッチにアクセサリ（ACC）ボジションのない車には取り付けられません。
- ・モニターをセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- ・本機（モニター）は極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。（キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。）また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

### 取り付け位置

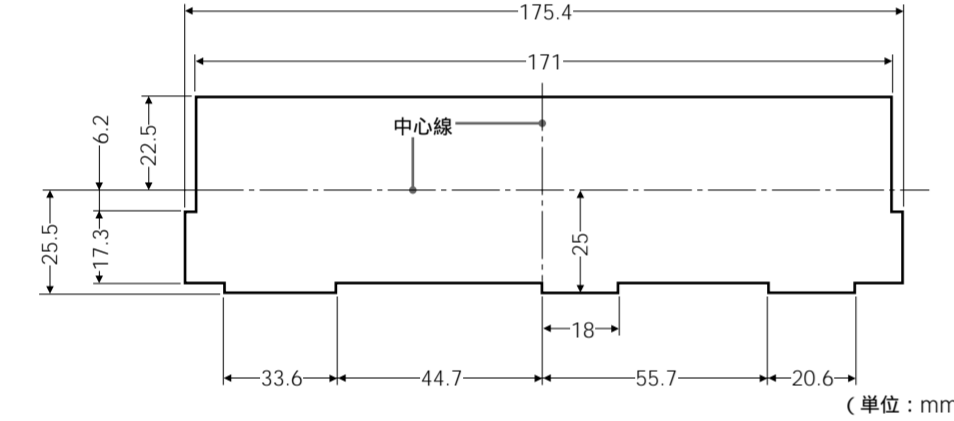
前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむようにセンターコンソールやインダッシュの高い位置に取り付けてください。2DINサイズの場合は、必ず上段に取り付けてください。

### 取り付け角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターのセット/収納ができなくなるなどの原因となります。

### センターコンソールやインダッシュに取り付ける

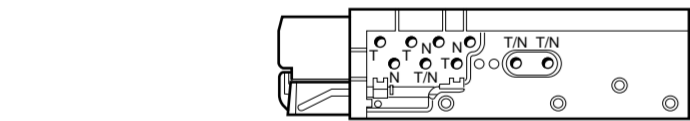
トヨタ車や日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。ただし、車種（一部のトヨタ車、スバル車など）によっては、本機のモニターローディング機構の動作方法より小さな場合があります。その場合、下図を参照して車両側のクラスターパネルを加工してください。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）



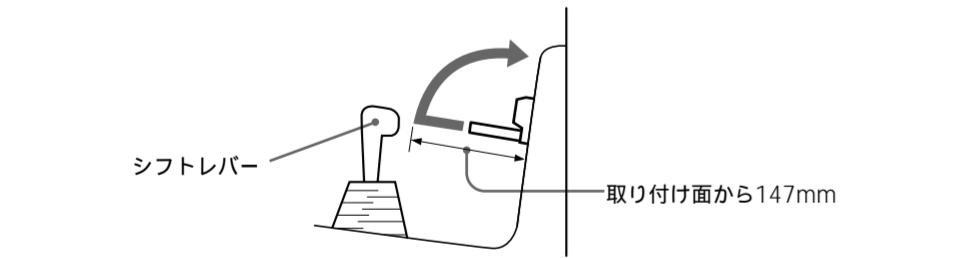
（単位：mm）  
ご使用の車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

### 取り付け時のご注意

- ・取り付けは慎重に行ってください。本機を落下させたり、ぶついたり、無理な取り付けを行いますとシャーシが歪んでモニターのローディング機構が動作しなくなり、故障の原因となります。
- ・純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されている「T」（トヨタ車/三菱車用）「N」（日産車用）「TN」（トヨタ車/三菱車/日産車共用）マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑩または⑪で取り付けてください。



- ・マスタ車用取り付け金具GMD-235を使用する場合は、付属のネジ⑩とワッシャー⑫で金具を取り付けてください。
- ・モニターのセット/収納のためには、シフトレバーを一番前にした状態からナビシステムの取り付け面まで147mm以上の間隔が必要です。



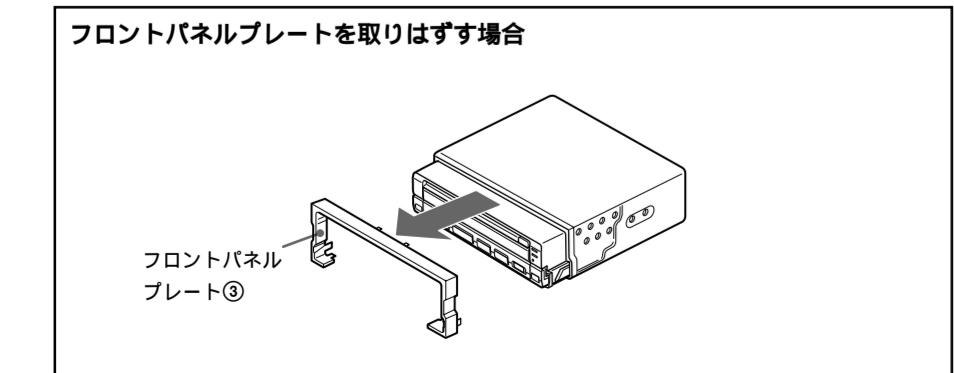
- ・シフトレバーの位置によっては、モニター部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の妨げにならないことを確認してください。
- ・本機とマスターユニット（1DINサイズ）を重ねて取り付ける場合は、本機を上段に取り付けます。

### 取り付けかた

- 1 純正カーオーディオを取り外す。  
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

### 2 本機を仮置きする。

- ・本機の後部が車両側にあたるときや、モニターをセットしたときにモニターの上部背面がセンターコンソールにあたりそうときは、取り付け位置を移動させてください。本機は14mm前方へ移動させて取り付けることができます。前方へ取り付けるときは、フロントパネルプレート⑬を取りはずしてください。
- ・本機を14mm前方へ移動させて別売りのマスターユニット（1DINサイズ）と重ねて取り付ける場合、車種によってはマスターユニットの操作が困難になることがあります。操作しやすいかどうか、必ず取り付けの前に確認してください。



（右上につづく）

### 3 本機を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

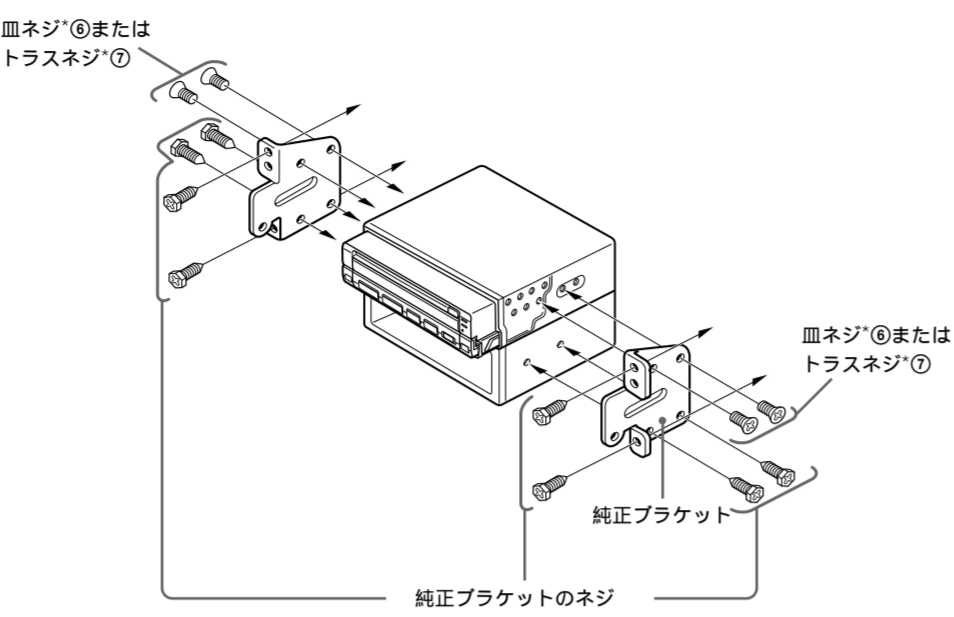
### ご注意

- ・本機のフロントパネルのボタンなどを押ししたり、強い力を加えたりしないでください。
- ・本機の上部に物をささみ込まないでください。

### トヨタ車/三菱車の場合

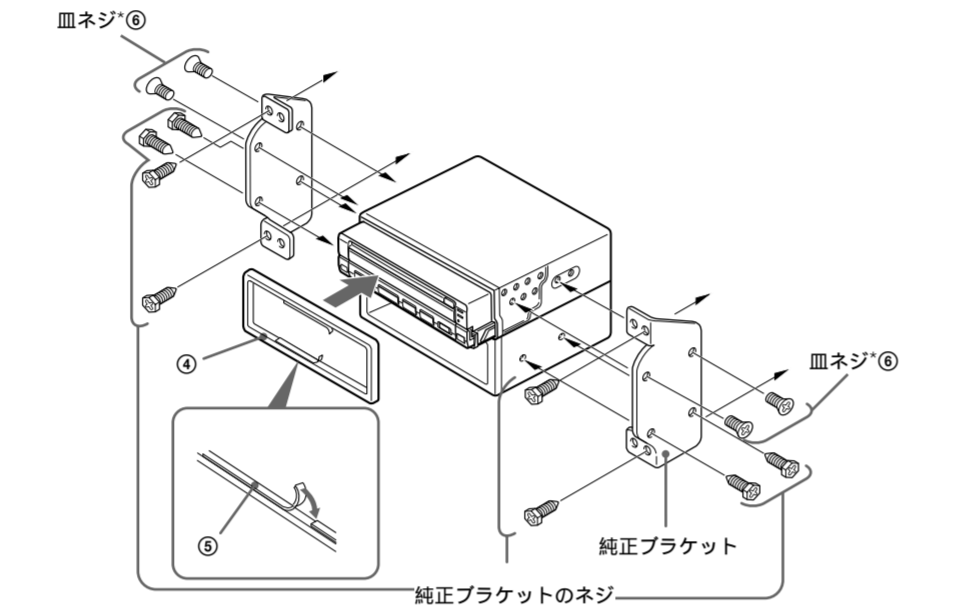
（イラストはトヨタ車の場合）

本機側面の「T」（トヨタ車/三菱車用）の刻印のあるネジ穴に純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属の皿ネジ⑨で取り付けてください。三菱車に本機を取り付ける場合は、トラスネジ⑩をご使用ください。



### 日産車の場合

本機側面の「N」（日産車用）の刻印のあるネジ穴に純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属の皿ネジ⑩で取り付けてください。



\* 取り付けネジは、必ず付属の皿ネジ⑩またはトラスネジ⑪で取り付けてください。他のネジで取り付ける場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。



これらより長いネジを使うと、モニターのセット/収納ができなくなるなど故障の原因となります。

## 3 TVチューナーユニットを取り付ける

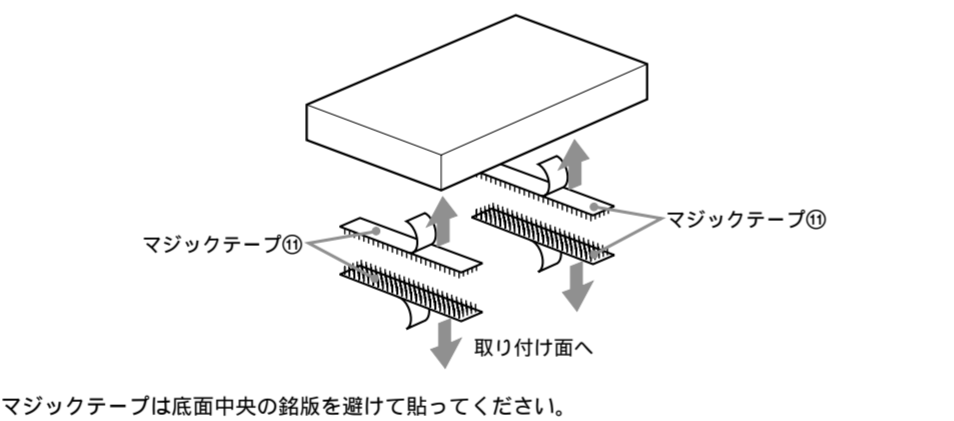
助手席の下などに取り付けてください。

### ご注意

直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。

### マジックテープ⑭でカーペットなどに取り付ける。

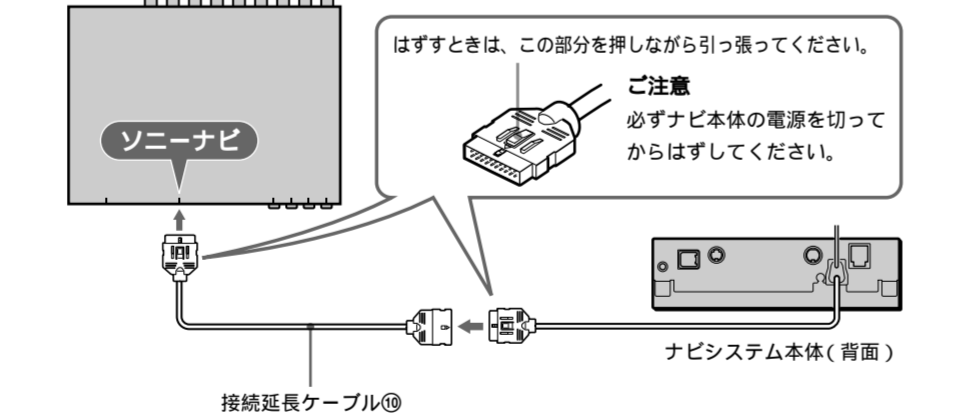
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



マジックテープは底面中央の銘版を避けて貼ってください。

### TVチューナーユニットをトランクなどに取り付ける場合

TVチューナーユニットをトランクなどナビ本体から離れた場所に取り付けるときは、付属の接続延長ケーブル⑮をナビ本体のTVチューナーユニット接続用ケーブルに接続してからTVチューナーユニットに接続してください。



## 4 コネクションボックスを取り付ける

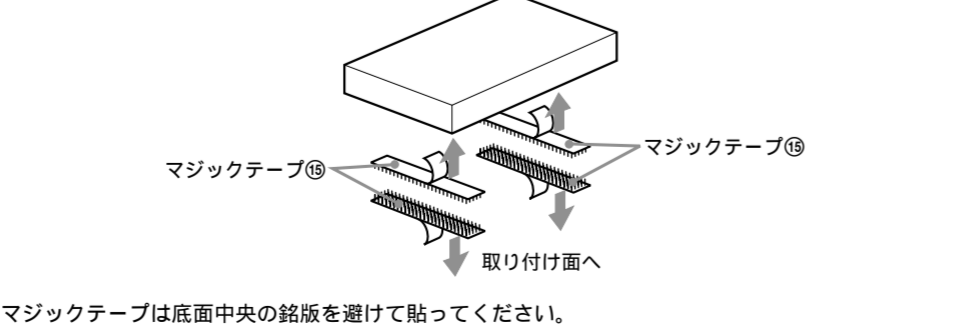
助手席の下などに取り付けてください。

### ご注意

直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。

### マジックテープ⑯を2つに切り、カーペットなどに取り付ける。

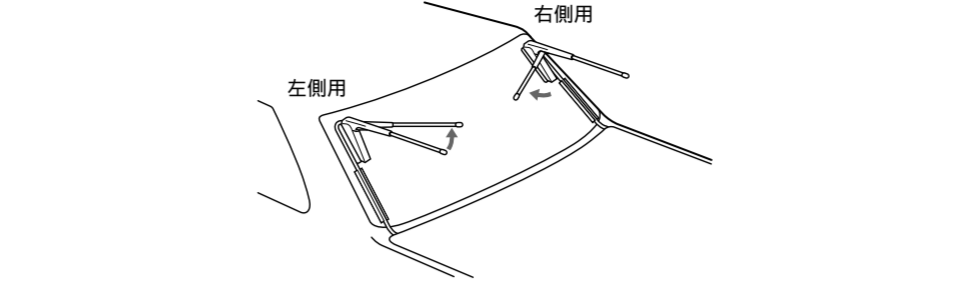
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



マジックテープは底面中央の銘版を避けて貼ってください。

## 5 TVアンテナを取り付ける

### 取り付けの前に



- ・必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- ・車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離して取り付けてください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- ・エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- ・なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラス曲面がきついたり、はがれる危険があります。
- ・湿気の高いとき（雨、霧など）は、貼り付け面を充分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- ・取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォグカー、ドライヤーなどを利用し、温めから貼り付けてください。
- ・アンテナの左右を確認して取り付けてください。

### 取り付けたら

- ・すぐに走行しても問題はありますが、24時間は水をかけたり、雨にあてたり、無理な力を加えないでください。
- ・走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- ・取り付け後は、取り付け状態を時々点検してください。
- ・自動洗車機の使用は避けてください。
- ・アンテナ本体、エレメント、コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。（変形、破損の原因になります。）
- ・次のような場所では、映りにくくなります。
  1. ビルとビルの間
  2. 高圧線、送電線付近
  3. 飛行機が近くを飛んでいる場合
  4. 電車が近くを走行している場合
  5. 山中や放送局から遠い場所
  6. トンネル内
  7. ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

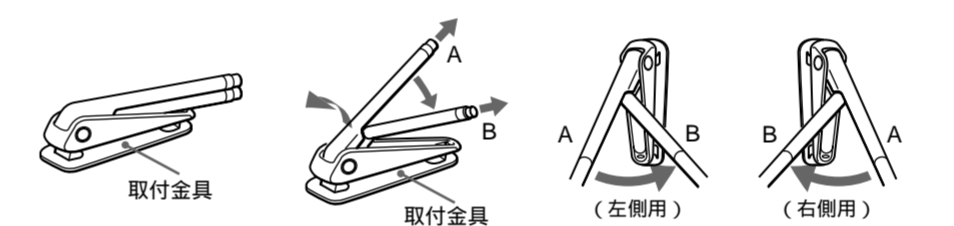
### 取り付けかた

あらかじめ、不織布⑰とクリーナー液⑱で、貼り付け面の油やワックス、ほりなどを拭きとってください。クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。

- 1 アンテナ⑲から取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。  
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。
- 2 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。  
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

### アンテナの使いかた

アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっばいにのばし、エレメントBを内側へ倒します。（取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。）



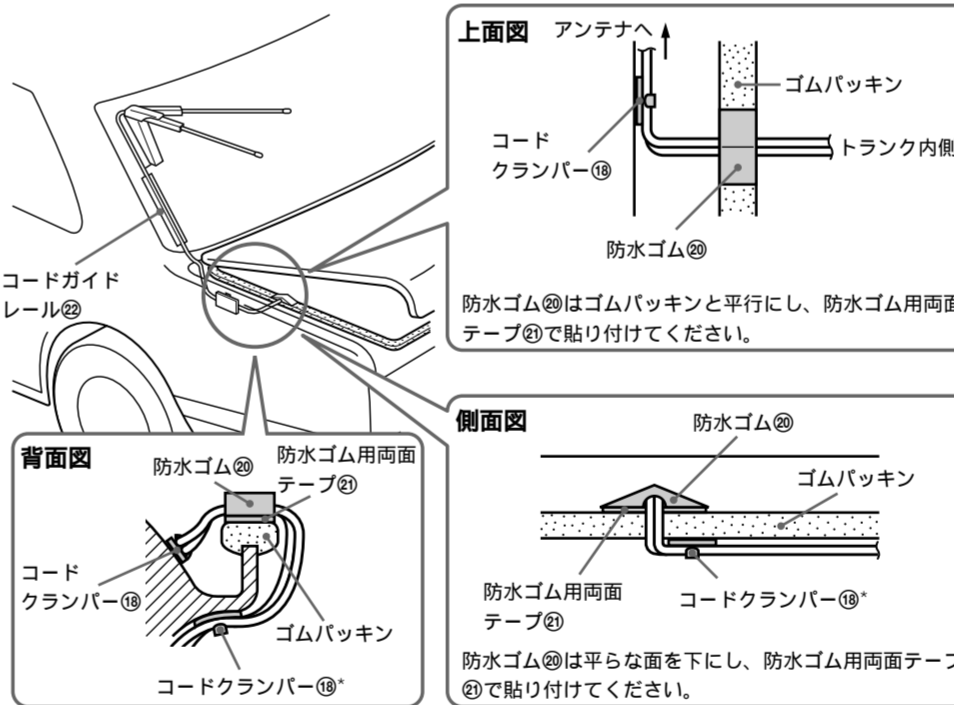
### アンテナコードの配線

#### 配線をする前に

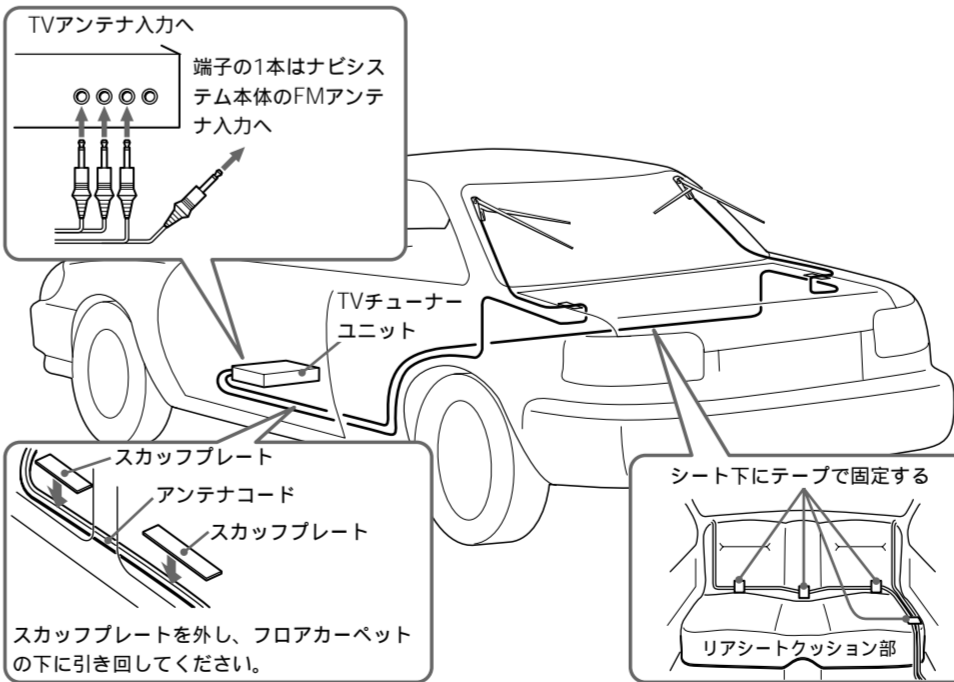
- ・アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。
- ・車の雑音を受ける場合がありますので、コードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。

雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。

#### コードの配線図



\* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。



## 6 GPSアンテナを取り付ける

### 車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所（車外のルーフやトランクリッドなど）に、水平に取り付けてください。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。

#### アルミやFRPボディの車に取り付ける場合

アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

- 1 トランクリッドなどの上に取り付ける。  
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

- 2 トランクリッドの裏側に、クッション⑳を取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内へ侵入しないように、トランクリッドを開けたときに、ゴムパッキンの上にクッション⑳が当たるように取り付けてください。

### ご注意

- ・コードを車外でたるませたままにしないでください。
- ・車種によっては、コードがトランクリッドまで届かない場合があります。その場合は、アンテナを車内に取り付けてください。
- ・コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー㉑をご使用ください。
- ・取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- ・自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- ・GPSアンテナコードは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電流が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。コードを破損すると、GPSアンテナおよび本体（地図ディスプレイ）の故障の原因となります。

### アンテナの塗装について

アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料（メタリック系の塗装など）は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

### ご注意

一部のウィンドウガラス（フロント、リアとも）には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

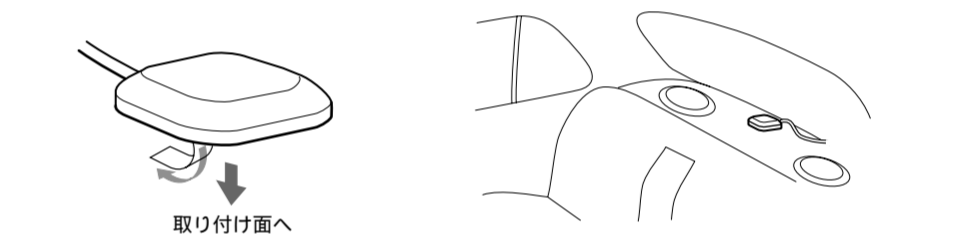
### 車内に取り付ける場合

- ・リアトレイやダッシュボードに取り付けます。
- ・平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。
- ・できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を通るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に通ずる場所がない場合は、車外のトランクの上などに取り付けてください。

- 1 アンテナに両面テープ㉒を貼り付ける。

- 2 はくり紙をはがして接着する。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



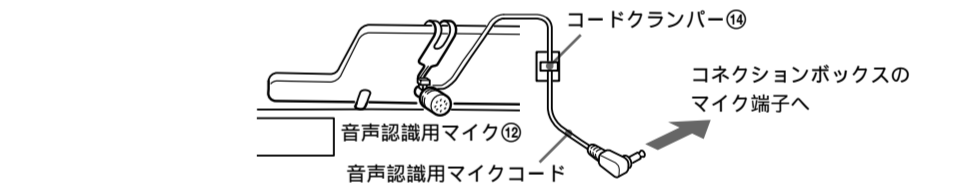
## 7 音声認識用マイクを取り付ける

- 1 マイククリップ㉓を取り付ける

音声認識用マイクの後ろ側から「カチッ」と音がするまで差し込みます。

- 2 サンバイザーに取り付け、ナビ本体に接続する

接続については表面の接続図をご覧ください。



## 8 ナビシステムを起動させる

- 1 車のエンジンをかける。

- 2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する。

- 3 ナビシステムのリセットボタンをつまようじの先などで押す。

リセットボタン（つまようじの先などで押してください。）  
ソニーバス対応のマスターユニットを接続している場合は、ナビシステムのリセットボタンを押した後に、マスターユニットのリセットボタンを押してください。

### コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどからまると、非常に危険です。また、ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線するおそれがあります。

## 9 リモコンを取り付ける

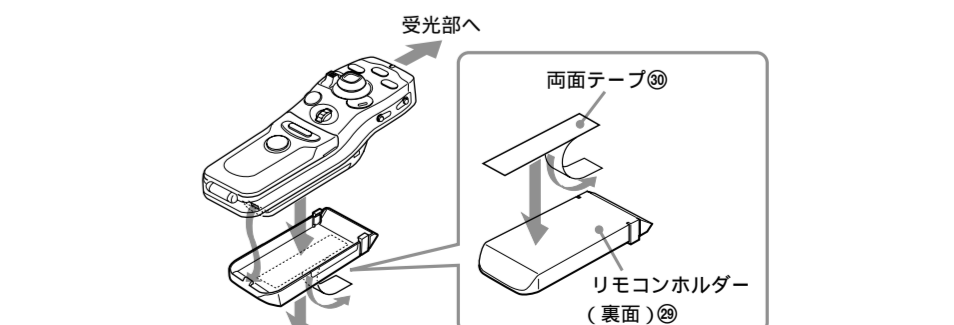
正しくリモコン操作ができることを確認し、シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

### ご注意

- ・次のような場所への取り付けは避けてください。
- ・シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
- ・運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
- ・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。

- 1 リモコンと受光部が向き合うように、両面テープ㉔で取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



### ご注意

直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなる場合があります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。